

国際ロータリー第2510地区
2008～2009年度

ガバナ一月信

No.12
2009
6

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510
2008-2009
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー第2510地区

2008～2009年度 ガバナー 矢橋 温郎 HARUO YAHASHI

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F

TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512 e-mail:rid2510@nifty.com

ホームページ: <http://www.ri2510.gr.jp>



R国際協議会(カルフォルニア、サンディエゴ)にて

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

目次

CONTENTS

- 1 ————— ガバナーメッセージ
- 2 ————— ロータリー親睦活動月間に寄せて
- 4 ————— 国際ロータリー第3700地区 地区大会に参加して
- 7 ————— 「ロータリーの友」とポリオ根絶計画
- 8 ————— 私の“Rotary Notes”
気高き岩頭 (The Great Stone Face)
- 10 ————— ガバナー補佐レポート
第2グループから初のガバナー輩出に燃えて
- 11 ————— テレビ北海道 (TVh) が主催する
「ゴールデンマーケット」に参加して
- 12 ————— ロータリー情報委員秋活動記
- 14 ————— 新入会員のご紹介 / ロータリー財団寄付 / 米山記念奨学会寄付
- 15 ————— 訃報 / 例会曜日・例会時間・例会場の変更等について / 文庫通信
- 16 ————— 出席率・会員数
- 17 ————— 地区カレンダー (6月)



ガバナーメッセージ

年度末を喜びとともに

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 矢橋 温郎

(札幌西RC)

帝王学というのは、最近では流行らないかもしれませんが、企業や地域、ひいては一国のリーダーを育成するために必要なものとされています。

ロータリーにも、あのひとは将来の会長候補、ガバナーになるひと、と目される方がいます。当地区ではガバナーが高齢化しているため、その次を狙うにはしんどいところですが、他地区の若いガバナーと接して、このひとは近々RI理事になるのではないかと、もしかしたらRI会長とか、と想像するのも楽しいものです。

私は、入会10年目で幹事を務めたとき、次の10年で会長かなと、ずうずうしく計算しました。タイミングよくといいますか、会長のお話をいただく頃に地区の代表幹事を仰せ付けられ、その勢いで退会。会長をやらずしてロータリーを辞めてしまったのは、心残りでした。3年間のお休みを経て、復帰したらすぐに会長。それで満足だったのに、続いてガバナー補佐、揚げ句、ガバナー。あえて出戻りをガバナーにしようという発案と、それを受け入れる懐の深さが、当地区の素敵どころです。

まさかガバナーになるとは思っていなかったもので、何をしたらよいかをじっくり考える余裕はありません。とりあえず自分のロータリアンとしての矜持を思い起こしてみると、「四つのテスト」が真っ先に浮かびました。

「一業種一会員」は「職業奉仕」と共に、ロータリーがロータリーたり得るために必要な要素でした。それを放棄したとき、諸先輩が「ロータリーは終わった」と嘆かれました。ロータリーが普通のボランティア団体になりつつある昨今ですが、根強く支持されているのが「四つのテスト」です。一昨年来、ロータリアンによる犯罪や職業倫理における不祥事の報道が続きます。その都度、多くの会員から「四つのテスト」に背いた」と指弾する声が聞かれました。

そこで、例会での「四つのテスト」の唱和を、地区方針のひとつに挙げてみました。公式訪問で伺うと、あるクラブでは一節ずつ読み上げ、あるいは歌ったりと、みなさん上手に取り入れていました。

それでもロータリアンの不祥事は、絶えません。最近も他地区では、世間を賑わせた方がいます。絶えないといえば残念なことに、子供への虐待も増えています。今年度RIテーマ「夢をかたち」のロゴマークは、母親が子供を抱いている姿を連想させます。親が子を愛しみ育てるなんて当たり前だと思っていました。将来、「子供を虐待しない世の中に」なんてRIテーマが登場しないとは限りません。「一業種一会員」が消えたように、ロータリーも100年もやっていけば、時代に合った形が求められます。「夢をかたち」にした世代が子供虐待に悩むなら、その解決に手を差し伸べるのがロータリーです。少なくとも我が国では、きれいな水や識字率よりも優先して取り組むべき課題になるでしょう。

ガバナー在任中に、後期高齢者の仲間入りを果たしました。75歳の手習いで、携帯をタッチパネルの最新機種に替えました。かさかさの指先は、若者の脂ぎったのよりも操作に適しています。

RIからの連絡がメールで届くというので、仕方なくパソコンも始めました。今ではメールチェックを怠らないよう、週末も会社に来ております。暖かくなってきて、ますますやる気がみなぎってきましたが、ここで終えるのが単年度制のよいところ。

12名のガバナー補佐さん、無理なお願いを黙って聞いてくれてありがとうございました。

地区委員長のみなさん、予算削減の中、工夫しての事業推進に頭が下がります。

73名のクラブ会長さん、区内ロータリアンのみなさん、公式訪問での温かい歓迎を忘れません。

ホームクラブの札幌西ロータリークラブのみなさん、地区大会ではお世話になりました。

大金代表幹事、貴兄の心強いパートナーシップに1年間支えられました。

ガバナー事務所のみなさん、いつもおつかれさまでした。そして最後に、妻に感謝して。

ロータリー親睦活動月間に寄せて

地区クラブ奉仕委員会

副委員長 小田切 房之

(札幌東RC)

私は、札幌東ロータリークラブの会員です。先輩会員から「楽しくなければロータリーでない」と教わって来ました。お陰様で入会以来ロータリーを楽しく過ごしています。例会出席は勿論ですが奉仕活動や親睦を深める為の同好会にも積極的に参加しています。

私達のクラブには、ゴルフ同好会、音楽同好会、パークゴルフ同好会があり、近々軽音楽愛好会が発足しそうな気配です。かつては囲碁同好会もありました。それぞれ活動を少し紹介させていただきます。

・ゴルフ同好会

シーズン中、月例会の他に第5グループにも声を掛けて「ふれあいゴルフ会」も催しています。

・音楽同好会（イーストハーモニー）

かつて受入れ留学生を、お世話していたホストファミリーの方々が留学生のホームシックを和らげようとコーラスを通して励まし交流を重ねてきました。最近では身障施設を訪問して、園生と一緒に合唱し交流しています。5年程前からは全日本ロータリー親睦合唱祭に参加し2年前にはホストも務めました。

本年も6月に名古屋へ40名弱で参加します。

・パークゴルフ同好会

発足新しい同好会ですが、新しい仲間がどんどん増えています。

・軽音楽愛好会

セミプロ級の楽器演奏者達の愛好会です。

今まで納涼家族会や、クリスマス家族会で演奏していましたが正式に発足するそうです。

御存知の様に奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、同様の志を持った会員達が定期的会合を持つことにより交流、親睦を深め更にお互いを理解しあう。この為例会には必ず出席すること（100%出席）を目標とし例会が円滑に運営、機能するように奉仕するとあります。

皆様のクラブに於いても親睦活動プログラムは色々用意されていると思いますが伝え聞いた処によりますと静内クラブでは、「ロータリークラブに入会して甲子園に行こう!!」と呼びかけて会員増強に一役買っているそうです。

趣味を通しての親睦を深める、更に輪が広がって行く素晴らしい事だと思います。困みに「イーストハーモニー」が全日本親睦合唱祭に参加するきっかけになったのは会員のお医者さんが神戸の学会に出席した際、ロータリーバッジを見た同窓の会員から、自分はロータリーで合唱団に入って全国各地の合唱祭に参加しているのだと聞いたのが始まりだと思います。

ロータリーのバッジの話では小生も経験があります。

同業の集まりで島田に行った折り、会議の合間にお互いにロータリアンですね、近くに「米山記念館」があるから明日いつてみないかと誘われました。めったにない機会でしたので、偶然4名程誘って見学に行きました。とても楽しかったですし、その後仕事上の情報交換にも役立ち胸襟を開いて親しくお付き合いをしています。

国際奉仕委員会や新世代委員会を通して世界中のロータリアンと交流をしている会員も多勢いると思いますが、私たちのクラブにも台湾のメンバーとゴルフをしたり雪祭りを案内したり家族ぐるみで親睦を深めている会員がいます。

今回紹介したのはほんの一部です。皆さんのクラブでこんな親睦活動をしているよと言う情報を寄せて頂けたら幸いです。親睦を深めてロータリーをもっと楽しみましょう。

最後に会員増強の為のパンフレットと新会員の為の素晴らしい資料がみつかりました。きっと、お役に立つと思います。購入をお勧めします。

- ・ロータリークラブへ、お入りになりませんか
1冊 100円 申し込み 30部以上
- ・ロータリーへようこそ
1冊 350円

《お問合せ先》

淵上勝夫（勝山RC）

住所：〒911-0804 勝山市元町1丁目7-21

TEL：0779-88-0633 FAX：0779-87-2560

ロータリーの親睦活動

ロータリークラブには、四大奉仕以外に、親睦を深めるために、クラブ独自の特長ある楽しい行事・事業、そして同好会員でつくる趣味の同好会があります。

例会を離れて、会員同士が親睦を深める絶好の機会になります。

ぜひ参加してみてください。

(以下は、ほんの一例です)

楽しい行事・事業

- 三古都RCの友好懇談会
- 知的障害者更生施設支援
- 献血キャンペーンとイベント
- 少年サッカー大会
- プロバスクラブ交流会
- 情報集会を積極的に開催
- 姉妹クラブとの交流事業
- 帰国子女とその家族との交流会
- 無料よろず相談会
- 「世界の京都、まちの市民総行動」へ参加
- 近隣の温泉でリラックスしての例会
- 毎月の最終例会を夜間例会として、音楽、芸能関係の卓話にして家族会としている
- 「母と子のふれあいフェスタ」
- 60才以上の現会員と元会長及び家族で「友輪会」を結成して親睦を図っている。
- 青少年スポーツ大会（柔道/剣道/サッカー等）主催
- フレンドシップ例会（家族やロータリアンでない友人を例会に招く）
- 年5回親睦家族会
- みどりの森の清掃奉仕活動
- 地域在住外国人との交流会
- 納涼合同（他クラブと）例会
- 提唱しているRAC・IACとの共同事業
- 中学校との共同清掃奉仕や会食
- 川と「川クラブ」を結成し、交流している
- 子供達を集めて昔の戸外での遊びを一緒にする

特長ある委員会 (推奨クラブ細則に示されている以外の委員会名)

- | | | |
|----------|---------|--------------|
| ●ニコニコ箱 | ●健康管理 | ●隣接クラブ協議 |
| ●歌唱（ソング） | ●健康相談 | ●クラブ基金運営 |
| ●職業情報 | ●趣味の会 | ●ロータリー文学 |
| ●社会福祉 | ●みどりの森 | ●鳳凰賞実行 |
| ●国際親善情報 | ●プロバス | ●地域交流推進 |
| ●友愛基金 | ●青少年育英会 | ●ロータリーボランティア |
| ●異業種研究 | ●情報ネット | ●GOOD WILL基金 |
| ●就職相談 | ●退会防止 | など |
| ●レディース | ●定款細則審議 | |

同好会

- | | | |
|-------------|-----------|--------------------|
| ●友の輪会（ゴルフ） | ●コーラス | ●釣り同好会 |
| ●囲碁同好会 | ●長寿会 | ●ヨット同好会 |
| ●静友会（茶道） | ●謡曲、狂言同好会 | ●ジョギング同好会 |
| ●ひねり会（陶芸） | ●書道同好会 | ●秘湯同好会 |
| ●ほろにが会（ビール） | ●詩吟同好会 | ●気功教室 |
| ●パソコン同好会 | ●スキー同好会 | ●無名会 |
| ●青丹句会（俳句） | ●無線同好会 | ●アウトドア同好会 |
| ●写真同好会 | ●ボウリング同好会 | ●観劇同好会 |
| ●野球同好会 | ●見学鑑賞同好会 | ●男料理同好会 |
| ●テニス同好会 | ●御寺めぐり同好会 | ●P.S会（パスト会長、幹事） |
| ●山登り会 | ●麻雀同好会 | ●ワンダーフォーゲル同好会 |
| ●歩こう会 | ●ダンス同好会 | ●書画、骨董、美術同好会 |
| ●グルメの会 | ●古都探求の会 | ●IFPC（国際奉仕、平和サークル） |
| ●山歩き同好会 | ●旅倶楽部 | など |

国際ロータリー第3700地区 地区大会に参加して

ガバナー補佐（第2グループ担当） 神部 洋史
(滝川IRC)

【はじめに】

総勢15名の編成で4月23日から26日まで、国際ロータリー第3700地区（韓国大邱地区）の地区大会に出席するため、空路ソウル仁川空港へ向かった。12名が千歳空港から飛び立ち、仁川空港で函館からの酒井パスト・ガバナーご夫妻と韓国語通訳として元米山奨学生の申東煥さんも合流して、ソウル市内のロッセホテルに宿をとった。その夜は結団式よろしく懇親を深めた。翌24日は午前中ソウル市内観光、午後から韓国自慢の新幹線KTXで一路東大邱に快適な電車旅行をした。東大邱駅に到着すると現地の地区スタッフが早速宿泊先のホテル インタープルゴに案内されて到着。休憩後18時から同じホテルで行われた「RI会長代理歓迎晩餐会」に出席した。晩餐会後の二次会も設定されていて懇親を深めた。翌朝はホテル向かいの大型施設「EXCO」で行われた地区大会に出席して盛大に歓待されたので報告する。



『RI会長代理歓迎晩餐会』

地区大会前日（4月24日）18時より中相吉（シン・サンギル）RI会長代理（07-08年度ガバナー）を迎えて、朱七錫（ジュ・チルソク）総裁（＝ガバナー）主催の「RI会長代理歓迎晩餐会」が行われた。

朱ガバナー挨拶、中RI会長代理の挨拶の後、矢橋ガバナーが登壇して朱ガバナーからプレゼントを戴き、矢橋ガバナーがお礼の挨拶を行った。何故か乾杯が無いまま自然と開宴となり食事となったが、暫く経ってから矢橋ガバナーの乾杯（カンペイ）の音頭で会は一応頂点に達した。ところが何かトラブルがあったらしく、それを機に司会者が晩餐会のお開きの宣言をしたため、参加者が一気に帰り始め食事も終わっていないのに、我々だけが取り残される結果となってしまった。仕方なく用意されていた二次会のカラオケルームに移動した。何がどうなっているか事情が呑み込めない我々にとって、救いとなったのは、無理やり同行をお願いした次年度国際奉仕員の谷口君で、それまでの雰囲気をも払拭して盛り上げてくれた。お陰さまで第3700地区のガバナーは勿論、RI会長代理も加わり日韓友好に寄与できた。



中RI会長代理ご夫妻と



朱総裁ご夫妻と



宋俊起ガバナーエレクトご夫妻

『RI第3700地区 地区大会第2日目 本会議』

4月25日9時10分暗転の会場の中、大音響で迎えられた入場式で会場中央の通路から壇上に導かれ手を振りながら壇上まで行進した。その後参加クラブの紹介は、ガバナー補佐を先頭に新設のクラブから順に紹介され、壇上で各クラブ旗を先頭にクラブが紹介され拍手を受けていた。この間30分。さらにガバナーの点鐘の後、黙祷、両国国歌斉唱、ロータリーの綱領朗読、四つのテスト斉話が行われた。

ここまでは前面3箇所のスクリーンにメイン画面が大写しにされ、エレクトーン演奏によるBGMが流れる趣向で会は進んだ。広い会場は全席2,000席位あったと思うが、最初からの円卓席でノンアルコールの飲料やクッキー・フルーツが用意されていた。ガバナーの講演中もザワザワしていて演者は汗だく、会場は私語が絶えない状況であったが、RI会長代理の挨拶も同様であった。またプログラムがハングル文字でしか表示されていなかったのは、些か困惑した。(これはお互い様と言えるか・・・)

次期RI理事リー・リュウハン(=市長)さんなどの来賓挨拶の後、矢橋ガバナーが挨拶に立ち「友好地区」として過去5年の実績を強調し、当時の第3700地区都載旭総裁と第2510地区遠藤秀雄パスト・ガバナーの年度に無事登別の地で調印に漕ぎ着けた経緯を説明し、その時同行されて調印に立ち会った当時の総裁補佐(ガバナー補佐)の朱七錫現総裁と今回我々と同行された日韓親善協会会長でもある岩城秀晴パスト・ガバナーの名前を挙げて称賛した後、今後の更なる友好を祈念した。

日本人好みに調理された美味しい昼食を戴いた後は会場を後にして、我々一行は再び「ETX」に乗り大邱市を離れソウルに向かった。

3泊4日の強行軍の地区大会出席であったが、参加者全員元気で行動が出来たのも一行の信頼と親睦がより深まったと確信できた旅行でもあった。改めて関係各位に感謝申し上げる次第である。



地区大会で中相吉RI会長代理



円卓で2,000人収容の大会会場



挨拶する矢橋温郎ガバナー



紹介を受ける渡邊恭久ガバナー・エレクト



地区大会会場の朱総裁



物故会員への哀悼舞踊



正宮として作られた宮殿「景福宮」の前で



明洞（ミョンドン）の焼き肉「名所」店の前で



崔鳳洵さん
(チェ・ボンスウン)
研修リーダー



お世話になった方々に、心から感謝いたします。



申東煥さん
(シン・ドゥファン)
元米山奨学生

参加者：矢橋温郎ガバナー、渡邊恭久ガバナー・エレクト、佐々木正丞ガバナー・ノミネー、
岩城秀晴パスト・ガバナー、酒井正人パスト・ガバナーご夫妻、
吉野頭隆ガバナー補佐、土谷享ガバナー補佐ご夫妻、森谷明弘国際奉仕委員（友好担当）、
出村知佳子WCS委員長、谷口正樹次期国際奉仕委員、神部洋史ガバナー補佐ご夫妻
韓国語通訳として申東煥（シン・ドゥファン）北大水産学部大学院研究員（元米山奨学生）



群馬県の地区から派遣されたGSEのメンバーと一緒に

行程：4月23日12時 千歳空港集合、14時 大韓航空機で仁川空港へ、ソウル ロッテホテル泊
4月24日14時 KTXで東大邱へ、18時晩餐会出席、大邱 ホテル インタープルゴ泊
4月25日09時 第3700地区 地区大会参加、14時KTXでソウルへ、ソウルロッテホテル泊
4月26日10時 仁川空港から帰路（12時30分到着、解散）

「ロータリーの友」とポリオ根絶計画

ロータリーの友 地区委員 橋本 信夫
(札幌西RC)

「ロータリーの友」は日本のロータリアンのための機関・情報誌として作られていますが、これには単なる国内のロータリー情報だけでなく、エッセイ、時事解説や国際問題など、きわめて広い守備範囲と質の高い情報が沢山織り込まれております。

最近の「ロータリーの友」には3月号から3回に亘って、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団によるRIのポリオ根絶計画支援の記事が載っています。そこでかつて小生が札幌医科大学衛生学教室でポリオの研究に携わっていたことから、ここではポリオの根絶問題を取上げてみたいと思います。

現在ポリオの常在国はナイジェリア、インド、パキスタンとアフガニスタンの4ヶ国にまで狭められており、ビル・ゲイツの「ポリオのない世界へ」に向けた2億5,500万ドルの拠出表明は、今後のポリオ根絶の弾み車として図り知れない威力を持つものと思われます。

しかし現在の日本におけるポリオへの関心は、今ひとつ盛り上がりには欠ける憾みがあります。そこで日本の母親を恐怖に慄かせた50年前（1960年頃）のポリオの全国流行と予防成功に至るまでの経緯を掘り起こし、ポリオが遠い途上国の問題としてではなく、現在の新型インフルエンザ同様の身近で切実な生物災害として捉え直すことも必要と思われます。

第2次世界大戦直後から北米と北欧でポリオが頻発し始め、特に米国では年間数千人の患者が発生するようになりました。しかし当時この小児伝染病には予防法も治療法も全くなかったために、母親たちに大パニックが起こりました。ここから“March of Dimes”「10セント行進」という、庶民の10セント献金をもとにポリオの研究や予防法の開発を支援しようとする大きな社会運動が興りました。

こうして大衆運動で集められた浄財をもとに、当時の超ハイテクであった組織培養法によるソーク（不活化）とセービン（生）の2種類のポリオワクチンが1950年代に開発され、これによって米国でのポリオ流行は一挙に終息しました。当時は厳しい米ソ冷戦の真最中であつたにもかかわらず、一方で米ソのウイルス学者が相互に相手国を訪問して協力し合い、技術の粋を凝らしてポリオの予防対策を推進していたのです。これはその後、人類の美談のひとつとして数えられていることから、ビル・ゲイツもまさしくこの伝統に沿ってRIのポリオ根絶運動に加担したのだらうと思われます。

日本では50年ほど前の1957～8年頃から、ポリオの散発流行が夕張や札幌近郊で始まり、やがて北海道を皮切りに全国的な大流行に拡大しました。丁度その頃小生たちの研究室で組織培養法によるポリオの血清診断法が確立し、確定診断や疫学調査ができるようになりました。しかし当時日本でワクチンを生産できなかったため、発生地を予測しても手を拱くだけで、具体的な予防対策を取ることができませんでした。

こうして1960年には年間4千人を超す小児麻痺患者の大流行に発展してしまいました。この写真は、1961年にパニックを起こした日本の母親たちが政府にワクチン寄せの大キャンペーンを張って迫った時のもので、全世界に配信されて大センセーションを巻き起こしました。これによって日本政府は米国とソ連から寄贈された生ワクチンの超法規的な導入を決断し、ワクチンの全国一斉投与によって猛威を振るった流行も1961年秋までに劇的に減少して終息しました。

現在常在国でのポリオ患者は1500人ほどにまで減少し、あと一押しで人類の長年の夢であるポリオ根絶の最終段階を迎えようとしています。半世紀前、北海道から始まったポリオの悲惨な全国流行が、当時の先進国の好意によって食い止められた経緯を思い起こしながらポリオプラス運動に対するご理解とご支援をお願いする次第です。



「ワクチンよこせデモ」に参加した母親たち、1961年6月19日、東京

注：1961年6月19日、日本政府に対して行われたソ連製ポリオ生ワクチンの大量輸入要請デモに参加した東京の母親たち。

提供【モスクワ市「ポリオとウイルス脳炎研究所」
(M・P・チュマコフ研究所)】



この写真の送り状
[同 参考]



(ポリオとウイルス性脳炎研究所
における筆者) [参考]



気高き岩頭 (The Great Stone Face)

国際ロータリー第2510地区

パストガバナー 塚原 房樹

(札幌東RC)

《ロータリー運動の目的》

ロータリーはうわべだけの人間を作るものではなく、人間の体質改善を行うものです。

ロータリーの内部で体験を積むにつれて、人はロータリアンになっていくのだと、ガイ・ガンディカー（元RI会長）は『ロータリー通解』“A Talking Knowledge of Rotary”の中で述べています。ガイ・ガンディカーはこの言葉をナサニエル・ホーソンの短編『気高き岩頭』から引用しました。そのあらすじを抜粋してご紹介します。[それは深い谷間はすれに、自然がいとも見事な手法で岩肌を削り取り、その岩頭は、遠くから眺めると荘厳な人物の像に似ていました。インディアンの子供が生まれ、その子が偉大なかつ高貴な人となるべき宿命を負うときは、その姿がかの岩頭そっくりになるという予言が言い伝えられていました。村の少年アーネストはこの予言をいつも心にとめ、その日の仕事が終わると何時間もじっとこの岩頭を見つめ、他の人々の気付かないことをたくさん見出したのです。やがてアーネストは進歩を続け、その部族の村の先達となりました。ある日訪れた詩人と終日語り合ったのち、日没になっていつものように村の者たちに説教をおこないました。彼の言葉は人生そのものの言葉でした。善行と崇高な愛が彼の言葉に満ち溢れていました。アーネストが群衆の前に立つのを見るのは印象的でした。遠方にくっきりと、これから沈まんとする黄金色の夕日の中に、気高き岩頭が高くそびえ、その周りに白い霧がただよう有様は、あたかもアーネストの額に白髪が垂れ下がっているのと同じでありました。彼の仁慈、大悲をたたえる顔を見て、詩人は、その衝動に耐えかねて両手を高々と上げて叫びました。「見よ。アーネストの姿こそ気高き岩頭だ」人はロータリーのなかで、アーネストが気高き岩頭を探求したやり方に従って進歩してゆきます。ロータリアンたちは深い思索に立って、多面的なロータリーを追求し、ロータリアン以外の人たちには見えないことを見通さなければならない]とガイ・ガンディカーは述べています。ちなみにガイ・ガンディカーは関東大震災の時、「東京壊滅する」という知らせを受けるや否や、直ちにRIのなけなしの2万ドルの救援金を東京RCへ送ってくれた日本にとって大恩人です。



《人面の大岩》

小堀憲介氏の訳でガイ・ガンディカーの『ロータリー通解』（A Talking Knowledge of Rotary）を読んだのは20年ほど前でした。このパンフレットには初期ロータリーの先達が開発したロータリーの諸原則が書かれています。特に上記の『気高き岩頭』の文章に触れたとき、会員増強と財団支援と組織管理主体のロータリーに比べて、強いカルチャーショックを覚えました。ロータリーは人間の体質を改善する運動だったのです。この小文に触れて以来『気高き岩頭』は一体どこに実在するのか、あるいは作家のフィクションなのかという疑問が、寝ても覚めても

いつも私を悩ませました。そこでナサニエル・ホーソンの原文なら、あるいは実在の地名が分かるのではないかと彼の作品群を探しました。ホーソンは『緋文字』『七破風の館』の作品で注目されましたが、短編やエッセイ類はあまり日本に紹介されていません。苦心の結果、ついに『人面の大岩』という短編があることを突き止め、はやる心を抑えて一気に読み下ろしました。題名は『気高き岩頭』ではなく『人面の大岩』ですが、英文のタイトルは(The Great Stone Face)で内容も同じでした。ただどこにも場所・地名についてはまったく触れていません。1996年、ポール・ハリスの没後50周年を機に、ロータリーの始祖の足跡(揺り籠からお墓場まで)を訪ねてまいりました。始祖にまつわるまだ知られていない貴重な発見が随所にありました。その旅行の際にも、時折『気高き岩頭』のことが頭をよぎりました。ホーソンはマサチューセッツ州の出身なので岩頭が自然に実在するならマサチューセッツのどこかであろうと推測していました。また登場するインディアンの少年はおそらくマサチューセッツ州の地名の由来となったマサソイト族であろうと私なりに推測していました。しかしニューイングランドのロータリアンたちにこのことを聞いても残念ながらわかりませんでした。

《マサソイト大酋長》

ところが数年前のある日、書店で『ニューイングランド物語』(加藤恭子氏著)という本の題名が目に入りました。ニューイングランドといえばポール・ハリスが自伝の中でロータリーの故郷と言ったようにロータリーの揺籃の地です。もしやと思い買い求め読みました。なんとそこに人面岩についての記述があるではありませんか。「ユリイカ(eureka)！」と思わず叫びました。ユリイカとはアルキメデスが王冠の金の純度を量る方法を発見した時の叫び声から《見つけた! わかった! しめた!》というギリシャ語です。ついに気高き岩頭のモデルとなった場所を知ることができました。積年の胸のつかえが下りました。『ニューイングランド物語』より人面岩に関する記述の部分を抜粋します。[マサチューセッツ州アソネットにあるフリータウン州立公園。かつてはインディアンの聖地だった。車を止め、前の斜面を上がると、それが崖になっていて突然視界が開ける。崖の足元は谷。その谷の向こう側の岩山に、巨大な人面岩が突出している。マサソイト大酋長の横顔としてインディア人が祈りをささげたという。マサチューセッツ州とはマサソイトの土地という意味である]

余談ですが1620年、メイフラワー号で新大陸にやってきた102人(ピルグリムズ/巡礼始祖)の人々は最初の冬がやっと過ぎたころなんと半数は冷たい土の下に眠ることになりました。だがマサソイト大酋長と友好関係を持てたことにより彼らの生活は安全なものとなり、翌年の11月、ピルグリムズとインディアンと一緒に新大陸で最初の感謝祭が行われました。戸外のテーブルには、その年獲れた野菜、木の実、野生の七面鳥、鴨、鶉、野生のブドウから造ったブドウ酒が積み上げられました。主客のマサソイト大酋長は、90人の部下と5頭の鹿を手土産に参加したとあります。アメリカに滞在した人なら、困難な冬を生き延びた後の感謝祭がどのように大切なものかご存知でしょう。ピルグリムズはインディアンと一緒に感謝祭を祝ったことは、この国は両者の協力の上に築かれたという建国の友愛神話が根底にあります。すぐにも現地を訪ね「人面岩」を訪ねたいと思いましたが、場所が特定できたのだからいつでも行けると安心してまだ訪問は果たしておりません。せめてネットで人面岩の写真があれば見たいと思い検索しました。幸いにもフリータウン州立公園内にある”Profile Rock”の写真を見つけました。あまり鮮明ではありませんがこれが『気高き岩頭』のモデルとなった大岩です。

どうぞロータリアンの物好きをお笑ください。

シリーズ No.11

ガバナー補佐レポート



第2グループから初の ガバナー輩出に燃えて

地区ガバナー補佐（第2グループ担当）

神部 洋史

（滝川RC）

ガバナー補佐（第2グループ担当）として早や1年を過ぎようとしています。4つのクラブについては既にガバナー月信で紹介いたしましたので詳細については省かせて頂きます。振り返ってみますと64年の私の人生の中で、こんなに充実した時間があつたのかと、実感できた1年でした。

前任の齋木前ガバナー補佐（芦別RC）との新旧ガバナー補佐・会長幹事会から始まり、矢橋ガバナーと同行しました公式訪問、その後すぐに滝川クラブ創立50周年記念式典とIMがあり、あっという間に終えた最初の2か月でした。この間に何回かのクラブ訪問の責務を果たしたのですが、実は私は補佐としての職務の他に次年度代表幹事としての役目があるため、実際には本来の補佐の職責を全うできたのか、自分でも余り自信がありません。しかし、その間にも10月になると矢橋年度メイン事業の地区大会があり、渡邊年度のための勉強の意味で準備から最終章まで見せて頂きました。こんな機会でないと思つて出席はしても中々内部のことまで首を突っ込むことはできないと思つて、補佐としてだけではなく次期代表幹事として、メモを取りながらしっかりと参加して参りました。

実は第2グループとしては初の渡邊エレクトがガバナー・ノミネーという大役を仰せつかった時に、私は渡邊年度のスタッフの一員になることを覚悟していましたが、代表幹事の役職は渡邊年度のガバナー補佐や地区委員長さん方との折衝を行うため、地区の事情を早く勉強できるようにと渡邊エレクトの強い要請により矢橋年度の補佐を経験させて戴いたものですから、矢橋ガバナーには大変迷惑な補佐だったに違いありません。矢橋ガバナーと大金代表幹事に心よりお詫び申し上げます。

しかし時間は容赦なく、今度は真正面から渡邊年度対応のモードで進んで来ます。補佐としてのクラブ訪問を終えるとすぐに12月初めの次年度第1回ガバナー補佐会議、1月にはガバナー・エレクトの米国での国際協議会への出発があり、その間に2月28日ー3月1日の会長エレクト研修セミナーを始めとする各種セミナー準備のため砂川のスタッフとの折衝を繰り返す、エレクト帰国直後に備えました。エレクトの帰国で次年度国際ロータリーのテーマに沿った形の地区運営方針を検討すると云う、充実と言うより過激なスケジュールをこなしました。そして前述の公式会合である各種セミナー（次年度ガバナー補佐研修セミナー・地区チーム研修セミナー・会長エレクト研修セミナー・ロータリー財団セミナー・米山セミナー）を砂川クラブの絶大なるサポートを得て、盛会裏に終える事が出来ました。砂川クラブには心よりお礼を申し上げます。そして4月12日滝川で行いました地区協議会で燃え尽きてしまいました。ご参加下さいました会員の皆様方には、何かとご不便をお掛けしたかも知れませんが、滝川クラブは精一杯知恵を出し合い、心身に鞭打ち頑張ったつもりでございます。一度燃え尽きましたが、7月からの次年度に備えて現在充電中でございます。

矢橋ガバナーには、「お前は私の年度の補佐として何もしていないではないか」とお叱りを受けそうですが、いつも心から「申し訳ありません」と思いつつ、矢橋ガバナーのスタッフとしても先頭に立って突撃したつもりでございます。まだ矢橋ガバナーの補佐でありますので、最後のクラブ訪問や報告書が残っております。6月14日の新旧補佐引継ぎ会議には最後のご奉公を致しますので、どうかご容赦下さいますよう、お願い申し上げます。報告と致します。



テレビ北海道（TVh）が主催する 「ゴールデンマーケット」に参加して

ローターアクト奮闘記

札幌南ローターアクトクラブ
会長 川下 和光

4月26日曜日その日はあいにくの雨模様でした。しかしこの日は、今年度当初から予定をしていたフリーマーケットを行う日、屋内会場と分かっても晴れてくれないかなと願いながら会場へ向かいましたが、私が会場に到着しても相変わらず雨は降り続けていました。

遅れましたが、今回の事業の目的はフリーマーケットを行い、次年度9月12日に行われます当クラブの35周年記念事業の資金調達とタイのバーンサバイへの寄付金を集めることを目的としたものです。バーンサバイ（タイ・チェンマイのエイズ患者のシェルター）には売上金の一部を寄付金として寄贈し、残りを35周年の記念事業資金に利用します。現在、35周年記念事業として計画しているのは以下の事業を予定しています。

- ① 第2この実寮（知的障がい者入所支援施設）ガーデニング作製
- ② 天使の園（北広島市児童養護施設）桜の木植樹 ドッチボールチームへのシャツ、ボールの寄贈を予定しています。

今回のフリーマーケットの出店目的を理解して頂き、多数の品々を提供して頂いた、私たちの提唱クラブであります札幌南ローターアクトクラブ会員の皆様と当クラブの会員の協力で多数の品々を集めることが出来ました。

販売中にはみんなで当地区統一して制作したアクトティーシャツを着て物品販売を行いました。アクトティーシャツでの販売理由はたくさんの方にローターアクトを知っていただけるよい機会だと思ったので行いました。そのおかげで、たくさんの方から「どんな団体なの?」「がんばってね。」と声をかけて頂くことができました。

その結果、売り上げはほぼ予想していた金額を売り上げることができました。

この結果もいつも快くご協力して下さる提唱クラブであります札幌南ローターアクトクラブ会員の皆様アクトのメンバーのおかげで成功させることも出来ましたし、ローターアクトのことを少しでも一般の方に知っていただけたと思います。

これを機にもっともっとローターアクトを一般の方に知って頂けるようにみんなで力を合わせて頑張って活動していきたいと思っています。

最後に、ご協力頂いた提唱クラブの札幌南ローターアクトクラブ会員の皆様ローターアクトのみんなに感謝しています。本当にありがとうございました。



ロータリー情報委員秋活動記

札幌南RC

ロータリー情報委員長 和田 壬三

職業奉仕委員長 佐藤 泰寛

ファイヤーサイドミーティング

“私が、クラブに在籍し続けている理由、経緯、事情など”というテーマで、ルネッサンスホテルの美麗華という中華レストランの洋室にコの字型のテーブルを配置して会議室風にして飲食をしながら、チャーターメンバー初め中堅、2～3年のメンバーも含めて総勢20名で各人がロータリーを如何に楽しんで来られ、それが今日まで続いている秘訣である事を、全員から披露していただき、新入会員の参考にして貰いました。

「同世代の少人数の集まりを始めて、例会とは別に定期的に会食しながら、互いを曝け出して友人になれたお陰で例会が友人に会える場となった。」

「趣味の会・文芸クラブや囲碁クラブ、ゴルフ同好会、カラオケ同好会が当クラブにはあるが、このような会で定期的に親交を深める中で、友人が出来て、例会に出席するのが楽しみになった」といったことで長くロータリーにすることが出来たという方が大半でしたが、ベテラン会員は、自分の健康のバロメーターという方も。

新入会員の方が、本音で自分を語るこのような機会に接した事は無いと感激しておられたことが印象に残っています。

ファイヤーサイドミーティング PART2（職業奉仕委員会共催）

テーマ “私が会社経営で心がけていること、職業人として最も大切にしていること”

社訓は職業に誇りを持つなど世間並みのことが記載されているが、安く、早く、良い仕事を、心を込めてせよと何時も社員に働きかけている。

請負仕事の開始時、中間時、終了時、終了後、そして日常的に毎週1回全社員を集わせてこの様な視点で仕事をしたか、しているか、検証している。（造園業）

顧客にとって何が一番利益になるのかというところを顧客と議論しながら見出して、その目標を目指してすすめている。単なる貸借でも、借り手から見ると貸してくれた方は、助けてくれた方であるし、貸し手から見ると借りた方は、それなりの事情があることを承知だったのだから、その関係を壊さずに解決するのが双方にとって最も望ましい。

亭主が不貞をしていて、息子が引き籠もりになったまま30歳になろうとしている。亭主は、家庭では、徹底した亭主関白だった。離婚したいと相談に来られた方と離婚する目的は何かと議論したところ息子の引き籠もりを直したい、幸せになりたい。ご主人には、愛情が残っている。という事だったので、親業という方法があることを紹介して試しにやってみることにしたところ、亭主が家にいる時間が多くなったなど感じていたある日亭主が息子に「お前いつまで親に頼っているのだ。俺ももうすぐ定年で年金暮らしになる。お前の面倒は見れなくなる。自分のことは自分でせよ」大声で喚いていたので何事かといってみると亭主が座って酒を飲み、息子は立ったままじっとしているところであった。息子が何も反応しないのを見て亭主がいきなり大声で泣き

出し「お前をこんなにしたのは俺のせいだ。俺が悪かった」と畳に手を付き平謝りをした。そのことがあってから息子が、友達と一緒に外出するようになり、全く会話が無かったのに会話ができるようになった、離婚するのは止める。ということになり弁護士は頂けなくなったが良い仕事が出来たと満足している。(弁護士)

宝石商は、石に色をつけて100倍の値段で平気で売るという業界であった。そこで科学的に宝石の真贋を鑑別し、宝石の品質を鑑定する方法を開発して全国に広めて宝石商の地位を確立した。その基となったのがロータリーの真実かどうかの4つのテストであった。(宝石商)

中小企業の経営者に4つのテストを強要すると潰れてしまう。経営者の責任感、経営者の指導力が大事である。(税理士)

ロータリー精神である自利他利を基本としている。従業員には客から信頼される事務所になろうと指導している。(税理士)

正直に、全力で、と心がけて、仕事もボランティアも家庭も全てに立ち向かっている。(保険代理店)

自分を頼っている患者に応えるべく頑張っている。何時も根源的な命について意識している。(内科開業医)

銀行時代からお客様を大事にするよう心がけていた。市民がお客様と思っている。特に弱者の方に少しでも手を差し延べられないか、環境問題に気を配るよう頑張っている。(議員)

仕事は楽しくやりたいと心がけている。(建設業)

四肢を対象とする業務であり、骨折の治療は10分の1なので、四肢の健康のために運動を進めている。(整形外科)

医師、看護師、理学療法士、薬剤師などの技術職ばかりでなく雑役婦を含めて全員に患者の気持ちになって対応するよう。患者の気持ちを深く知るためには、勉強するよう勧めている。病院経営のためには意識的にアホになっている。職員の自発性を引き出すことと失敗を怖れずに仕事ができるようにとの思いからである。(総合病院経営)

社長は社員に嘘を言ってはならない。社員には立派な社会人になりなさいと言っている。(建設資材卸販売)

奉仕をすればいずれは返ってくる。仕事は社会奉仕と思ってやっている。利益は少しでも良い。お客様が満足してくれれば、それが最大の利益だ。(製粉業)

テナントの方が気持ち良く仕事ができるように、テナントのお客様にも気持ちよく利用していただけるようにという気持ちで、本来顧客がすべき電灯の取替えや配管の清掃など、施設全体の印象に影響する様な施設の整備は無償でしている。周辺のごみ拾いや環境整備に心がけている。(不動産賃貸業)

その後の議論の中で、最も良く奉仕するもの最も多く報われるというロータリーの職業奉仕の理念は確かである。中小企業の経営者が4つのテストを実践したら会社が潰れると述べたのは言葉が足りず、真意は、4つのテストを表面的に理解し誤解する経営者がいるということを書いたかただけである。

月信の塚原PGの連載記事は参考になる。この厳しい時代を生き残るためにもロータリーの奉仕の理念は大事であるということで締め括りましたが、この様な本音が語れる企画は、是非又して欲しいという声もあった事をご報告します。

新 入 会 員 の ご 紹 介

(敬称略)



加賀谷 伴子
(室蘭北RC)

■入会/
09年3月3日
■職業分類/
税理士



金盛 克之
(札幌はまなすRC)

■入会/
09年4月7日
■職業分類/
電力供給



佐久間 正
(新札幌RC)

■入会/
09年4月8日
■職業分類/
電力供給



平田 幸彦
(苫小牧東RC)

■入会/
09年4月9日
■職業分類/
酒類販売



奥村 敦史
(滝川RC)

■入会/
09年5月7日
■職業分類/
電力業



竹俣 一芳
(苫小牧RC)

■入会/
09年5月13日
■職業分類/
洋紙製造



高野 園子
(札幌真駒内RC)

■入会/
09年3月18日
■職業分類/
不動産貸付



藤井 純恵
(札幌真駒内RC)

■入会/
09年4月22日
■職業分類/
仏教



富谷 功
(札幌真駒内RC)

■入会/
09年5月20日
■職業分類/
ホテル



丹野 紀男
(札幌北RC)

■入会/
09年5月11日
■職業分類/
ホテル



中村 良臣
(栗沢RC)

■入会/
09年4月1日
■職業分類/
電気工事



二渡 整
(恵庭RC)

■入会/
09年5月13日
■職業分類/
酒精飲料製造

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

室蘭東RC 金澤 智光 会員(1回) 4月17日
黒田 秀雄 会員(1回) 4月17日
佐々木勝男 会員(1回) 4月17日
松田 幹人 会員(1回) 4月17日
村木 一夫 会員(1回) 4月17日

■ポール・ハリス・フェロー

静内RC 在田 恒昌 会員 4月3日
室蘭東RC 小林 進 会員 4月17日
橋本 昭道 会員 4月17日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

■米山功労者

美唄RC 大竹 繁夫 会員(5回) 4月3日
岩見沢RC 西川 昇 会員(10回) 4月8日
小樽南RC 荒田 一正 会員(1回) 4月6日
福島 正紘 会員(1回) 4月6日
新倉 吉晴 会員(2回) 4月6日
野村 定玄 会員(1回) 4月6日

小樽南RC 白石 亨一 会員(1回) 4月6日
七飯RC 上野 一義 会員(6回) 4月15日
白老RC 加藤 信雄 会員(1回) 4月27日

■米山功労クラブ

美唄RC 9回 4月3日
小樽南RC 9回 4月6日

計 報



山形道文 名誉会員（函館五稜郭RC）
2009年3月30日逝去（享年81歳）

【ロータリー歴】
1970年1月24日 入会
（チャーターメンバー）
1976～77年度 会長
1993年7月より名誉会員
ポール・ハリス・フェロー



千葉 昭 会員（函館北RC）
2009年3月30日逝去（享年56歳）

【ロータリー歴】
1998年7月29日 入会
2002～03年度 社会奉仕委員長
2004～05年度 会員増強委員長
2006～07年度 地域発展委員長
ポール・ハリス・フェロー



宮谷 悟 会員（岩内RC）
2009年5月2日逝去（享年47歳）

【ロータリー歴】
2005年7月14日 入会
2006～07年度 ニコニコBOX委員長
2007～08年度 新世代活動推進委員長
2008～09年度 財団・米山記念奨学委員長
2007～09年度 地区ロータリーアクト委員

《例会曜日・例会時間・例会場の変更等について》

- 江 別 R C：6月25日（木）移動夜間例会 18：30～ 場所：レストラン マキシドルパ
- 岩見沢 R C：6月25日（木）夜間例会 18：00～ 場所：ホテルサンプラザ
- 岩見沢東 R C：6月9日（火）休会
6月16日（火）通常夜間例会を時間を変更し 12：30点鐘
6月30日（火）夜間例会 18：00～ 場所：岩見沢平安閣
- 小 樽 R C：6月16日（火）移動例会 12：30～ 場所：市立小樽美術館
6月30日（火）夜間例会 17：45～ 場所：グランドパーク小樽
- 室 蘭 北 R C：6月30日（火）夜間例会 18：30～ 場所：ホテルサンルート室蘭
- 白 老 R C：6月16日（火）の例会を下記に変更
6月20日（土）創立30周年記念式典・懇親会 11：30～
場所：しらおい経済センター（白老町大町2-3-4）
6月30日（火）移動夜間例会「会長・幹事慰労会」 18：30～ 場所：北味（白老町大町）
- 苫小牧 R C：6月19日（金）の例会を下記に変更
6月20日（土）移動例会「白老RC創立30周年記念式典・懇親会」 11：30～
6月26日（金）年度最終夜間例会 18：00～ 場所：グランドホテルニュー王子

文 庫
通 信

（260号）

【ロータリー文庫】は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報から

- ◎ [ロータリーの創立者ポール・ハリスをめぐって]
神崎 正陳 2008 5p (D.2570地区大会)
- ◎ [決議23-34の杞憂]
田中 毅 2009 9p (D.2500月信)
- ◎ [ロータリーとは？～ロータリアンであることの意義～]
成川 守彦 2008 9p (D.2760地区指導者育成セミナー)
- ◎ [あなたは何故ロータリアンなのですか？]
中山 義之 2008 19p (D.2770指導者育成セミナー講演録)
- ◎ [パネルディスカッション『会員増強』]
大友恒則（コーディネーター） 2009 13p (D.2800地区大会の記録特集号)
- ◎ [ロータリー知識クイズ]
2009 3p (D.2830西第一分区IM報告書)
- ◎ [ロータリーの職業奉仕]
安平和彦 2009 37p (D.2680職業奉仕セミナー)
- ◎ [ロータリー財団『未来の夢計画』の
パイロット地区申請にあたって]
小船井修一 2009 2p (D.2500月信)
[上記申込先：ロータリー文庫（コピー／PDF）]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

6月のロータリーレート 1ドル＝98円

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2008.7.1	2009.4.30	増減	内女性	
1	深川	4	36	34	-2	3	87.37
	羽幌	4	48	48	0	1	86.41
	妹背牛	4	9	9	0	0	83.33
	小平	4	14	13	-1	0	78.85
	留萌	3	45	43	-2	0	86.45
	小計			152	147	-5	4
2	赤平	4	29	29	0	1	93.00
	芦別	4	44	37	-7	0	87.84
	砂川	4	52	56	4	0	96.80
	滝川	5	99	99	0	2	81.00
	小計			224	221	-3	3
3	美唄	4	38	34	-4	0	91.10
	江別	4	34	33	-1	1	92.42
	江別西	4	27	31	4	3	82.25
	岩見沢	4	87	88	1	0	92.73
	岩見沢東	4	34	33	-1	4	83.88
	栗沢	4	23	24	1	1	95.60
	栗山	4	26	27	1	2	92.62
	当別	4	34	33	-1	0	76.54
	小計			303	303	0	11
4	札幌	4	117	115	-2	0	97.33
	札幌あけぼの	4	18	16	-2	1	100.00
	札幌はまなす	4	25	19	-6	4	81.52
	札幌北	4	43	42	-1	6	96.34
	札幌モーニング	4	49	52	3	0	73.83
	札幌西	4	62	61	-1	4	93.04
	札幌西北	4	39	38	-1	5	96.71
	札幌手稲	4	34	34	0	1	97.80
	小計			387	377	-10	21
5	札幌東	5	120	122	2	0	97.37
	札幌清田	3	18	18	0	4	100.00
	札幌幌南	4	65	65	0	0	100.00
	札幌真駒内	3	35	36	1	4	95.13
	札幌南	4	92	86	-6	0	96.15
	札幌大通公園	4	9	12	3	4	87.50
	札幌セントラル	5	14	13	-1	6	67.31
	新札幌	4	32	29	-3	2	88.14
	小計			385	381	-4	20
6	岩内	5	21	19	-2	0	86.79
	倶知安	4	46	43	-3	4	71.50
	小樽	3	69	68	-1	0	89.47
	小樽南	4	73	73	0	0	85.25
	小樽銭函	5	21	22	1	2	75.00
	蘭越	4	11	11	0	0	74.99
	余市	4	39	41	2	4	88.50
	小計			280	277	-3	10

4月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,816人
当月末会員数(女性)	2,801人(105人)
増加会員数	-15人
当月平均出席率	86.42%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率	
			2008.7.1	2009.4.30	増減	内女性		
7	千歳	4	63	63	0	3	78.60	
	千歳セントラル	4	35	38	3	2	87.50	
	恵庭	4	39	37	-2	0	80.71	
	北広島	4	17	17	0	0	88.24	
	長沼	4	20	20	0	3	75.80	
	由仁	5	10	11	1	1	88.00	
	小計			184	186	2	9	83.14
8	えりも	4	22	23	1	0	84.76	
	三石	4	15	15	0	1	100.00	
	様似	4	23	24	1	1	92.20	
	静内	5	72	73	1	1	78.73	
	浦河	4	34	34	0	2	100.00	
	小計			166	169	3	5	91.14
	9	伊達	4	53	56	3	0	76.78
室蘭		5	43	44	1	0	86.51	
室蘭東		4	41	37	-4	0	76.60	
室蘭北		4	34	38	4	3	100.00	
登別		4	31	33	2	2	84.85	
洞爺湖		5	9	9	0	0	80.00	
小計				211	217	6	5	84.12
10	函館	4	87	84	-3	0	77.09	
	函館亀田	3	45	42	-3	2	96.67	
	森	4	34	35	1	0	71.40	
	七飯	4	16	17	1	0	70.40	
	長万部	4	10	9	-1	0	88.80	
	函館セントラル	4	24	26	2	1	71.62	
	小計			216	213	-3	3	79.33
11	江差	4	19	18	-1	2	72.00	
	函館五稜郭	4	55	54	-1	0	98.56	
	函館東	4	45	46	1	4	83.42	
	函館北	4	30	30	0	0	95.83	
	北斗	4	19	18	-1	2	69.40	
	松前	2	5	5	0	0	80.00	
	小計			173	171	-2	8	83.20
12	白老	4	26	29	3	0	80.50	
	苫小牧	4	50	49	-1	2	86.29	
	苫小牧東	4	25	27	2	2	85.04	
	苫小牧北	4	34	34	0	2	94.53	
	小計			135	139	4	6	86.59
合計			2,816	2,801	-15	105	86.42	

地区カレンダー（6月）

6月 ローターリー親睦活動月間			
1 (月)	(財) ローターリー米山記念奨学会評議員会 (東京)	17 (水)	新札幌RC創立25周年記念式典 (札幌)
2 (火)		18 (木)	
3 (水)		19 (金)	
4 (木)		20 (土)	白老RC創立30周年記念式典 (白老) 地区ローターアクト年次大会 (札幌)
5 (金)		21 (日)	国際大会 (英国・バーミンガム)
6 (土)		22 (月)	国際大会 (英国・バーミンガム) 第19回JGFR北海道大会 (千歳)
7 (日)		23 (火)	国際大会 (英国・バーミンガム)
8 (月)		24 (水)	国際大会 (英国・バーミンガム)
9 (火)		25 (木)	
10 (水)	地区補助金委員会 (札幌)	26 (金)	地区インターアクト年次大会 (岩見沢)
11 (木)		27 (土)	地区インターアクト年次大会 (岩見沢)
12 (金)		28 (日)	
13 (土)		29 (月)	
14 (日)	2009-2010地区会員増強セミナー (札幌) 新旧ガバナー補佐・地区委員長合同引継ぎ会議 (札幌)	30 (火)	2008~2009年度 終了
15 (月)			
16 (火)			

※ガバナー事務所は6月30日の年度終了後、引き続き残務整理のため9月30日まで業務を行います。

編集後記

米国に端を発した不況の風は、世界中を席卷し更に風速を増しながら産業経済界ばかりでなくあらゆる面に悪影響を及ぼしている。一般の庶民生活においても思想信条においてもはたまたローターリーライフにおいてもである。

御記憶の方も多いと思うが、本マンスリー12号P24掲載の「米国の金融危機の影響について」はRI事務総長エド・フタ氏の緊急通信で我々はこれを一読、背中に冷水を浴びせられた様な気持ちであった。内容は要約すると、世界中から拠出されるRIへの資金管理については有効に利用されるべく各ファンドに預け入れているが、RIの資金管理先は安全であり、一時的に多少の損失があっても必ず市場安定期には収入が得られるとのことであった。資金運用に失敗し破綻する金融機関続出の報にRIは大丈夫との安心感を与える連絡であった。一応、諒としたもののその後の金融状況は更に悪化の一途である。

明けて4月3日のRIニュースでフタ氏の続報が入り、環境は更に悪化し多少の含み損が発生しているが、財団管理委員会は万全の処置をしている。今後、運営費の節約と国際財団活動資金(WF)の削減をするとの決定を下した。しかし崇高なローターリーの奉仕プロジェクトの重要は依然強く、これを推進する事はいささかも揺ぎ無い。かなり状況

は良くないような予感がする。

5月11日、日本事務局の片岡氏より緊急メール。要点は1.財団奨学生の文化研修(3ヶ月・6ヶ月)とマルチイヤー奨学金は中止。2.GSEは2年で完結、1年目は受入か派遣の1つを選ぶ。3.ボランティア奉仕活動補助金全廃。4.マッチング・グラントは70%削減。4.地区補助金は手続きがやはり厳しくなる等々である。新年度では財団資金の活用はかなり制限を受け、次期ガバナー、財務委員長の説明が待たれるところである。

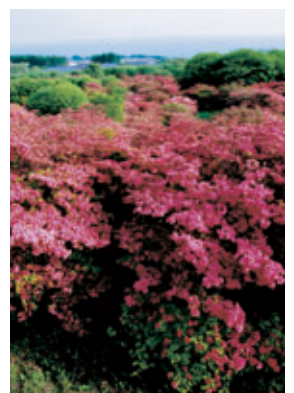
この時期、現行と次期の二つの流れが錯綜する。次年度の一連の研修行事が一通り終了し、各次期ガバナー補佐は現ガバナー補佐と引継ぎ及び各RCの棚卸しに追われていることであり、また各次期委員長は来るべき新年度のプロジェクト立案に腐心していられるであろう事は充分推察できる。それぞれのクラブにおいても新旧入り混じってのクラブ協議会、理事会、各委員会等に毎年の事ながらお互い落ち着くまで気忙しい事である。我々ガバナースタッフもそろそろ店仕舞が近づいてきた。本マンスリーも本号をもって一先ず終わり、2ヵ月後に最終号で本年度の総括をする予定である。1年間の愛読の御礼は改めて最終号にて。蒙御免。(大金)

ガバナー事務所

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512
E-mail:rid2510@nifty.com 執務時間:10:00~17:00(土・日・祝祭日休み)



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510
2008～2009
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



表紙：道南、恵山のつつじ
撮影：蝦名康夫 函館五稜郭RC